令和５年度国立夜須高原青少年自然の家教育事業

夜須高原ファミリーキャンプ①

～家族と楽しむ！自然に優しいキャンプ術～

【実施報告】

１　趣　旨　　これからキャンプを始めたい、またはキャンプ初級者の家族を対象として、安全且つ環境に配慮したキャンプスキルについて体験的に考え、学ぶことを通して、自然体験やキャンプ生活におけるマナー向上を図ることを目的に実施する。

２　主　催　独立行政法人国立青少年教育振興機構　国立夜須高原青少年自然の家

３　期　間　令和５年５月３日（水）～６日（土）　※１泊２日を３回実施

４　場　所　国立夜須高原青少年自然の家

５　参加者　日程①：５月３日（水）～４日（木）　３１名（８家族）
　　日程②：５月４日（木）～５日（金）　３３名（８家族）
　　日程③：５月５日（金）～６日（土）　２２名（５家族）

６　講　師　国立夜須高原青少年自然の家　職員

７　活動の様子　別紙参照

８　感　想

①プログラムに関すること

・テントのたたみ方などを教えていただいたので、これからキャンプを始めるにあたり、ハードルが下がりました。
・良い具合にお手伝いをいただき、焚き火も体験できて楽しかった。
・雨の中でも活動できる工夫をいただきありがとうございました。

②事業全体に関すること

・同年代の子供同士の交流もあり、良かったです。
・キャンプが初めてだったので、自然に対する考え方や薪割りや火をつける体験も有意義でした。
・分からないことを気さくに答えていただき、初心者でも参加しやすかったです。
・親子共々良い経験になりました。

9　成　果

本事業は、初めてキャンプに参加する家族やキャンプを始めて間もない家族を対象とした事業であった。その中で、参加者アンケートより「テントの張り方が分かりやすくスムーズに設営することができました」や「テントのたたみ方などを教えていただいたので、これからキャンプを始めるにあたり、ハードルが下がりました」といった意見をいただいた。これは、本事業が参加者にとって、これからキャンプを始めていくための一つのきっかけとなったといえるのではないだろうか。

また、施設側としても「自然と人に優しいキャンプ」を目的としており、キャンプを行う際のマナーや環境に配慮する行動などをレクチャーすることで、使う側のマナーやスキルが向上することは、貸し出す側としてのメリットもあり、双方にとって有効なキャンプであった。

10　課　題

本事業においては、広報開始から数日で定員に達した状況を鑑みると、大変ニーズがあるということが分かる。一方で、広報ツールが当施設ＨＰへの公開及びＬＩＮＥ登録者への広報のみに留まっていることから、今後はより幅広く広報を行っていくための工夫を行っていくことが一つの課題である。

また、当施設キャンプ場の利用増に向けた取り組みとして、同様のキャンプを複数回実施することや、中級者向けに当施設キャンプ場を解放した事業も検討していくと良いのではないかと感じている。

【別紙】

7-1．講義

7-2．夕食つくり

7-3．焚き火

7-4．テント設営・撤収